教授の呟き

第46回

ロジスティクスを学ぶとき

東京海洋大学教授　苦瀬博仁

ロジスティクスの教科書とは？

「ロジスティクスには、適当な教科書がない」。先日、実務家の一人が嘆いていた。数学や英語と比べられては困るとは思いつつも、それ以来とても気になっている。

最近は書店にコーナーができるほど、ロジスティクスに関連する本が多く出版されるようになった。インターネットでも、いろいろなサイトで、ロジスティクスにかかわる情報が公開されている。

少なくとも、筆者が物流の勉強を始めた約30年前と比較すれば、情報量は格段に多い。昔は専門書が少なく、周辺分野の本を幅広く読みながら、外側から包み込むように手探りで物流を学んだ。

基礎から学ぶ重要性

ロジスティクスを学ぶ方法を、極端に分ければ、基礎から学ぶか、応用から学ぶか、の2つになるだろう。

基礎から学ぶということでは、中学時代を想い出す。「数学の試験範囲は、どこからどこまでですか？」との生徒の質問。先生は「試験範囲はここまで。でも、始まりは小学校の算数からだよ」と、毅然（きぜん）とした態度で応じていた。何事も、基礎からの積み重ねが重要ということだったのだろう。

ロジスティクスでも、数学の基礎があるからこそ、配送計画やシミュレーション分析が可能となるし、物流施設も計画できる。また会計や経済を学ぶからこそ、物流会計や在庫分析の本質が理解できる。

基礎なくして応用は理解できないし、伝統的な基礎学問ほど応用学問にヒントを与えることも多い。ましてロジスティクスは応用学問だから、学ぶべき基礎学問のすそ野は広い（図）。

理論にとらわれて、落とし穴

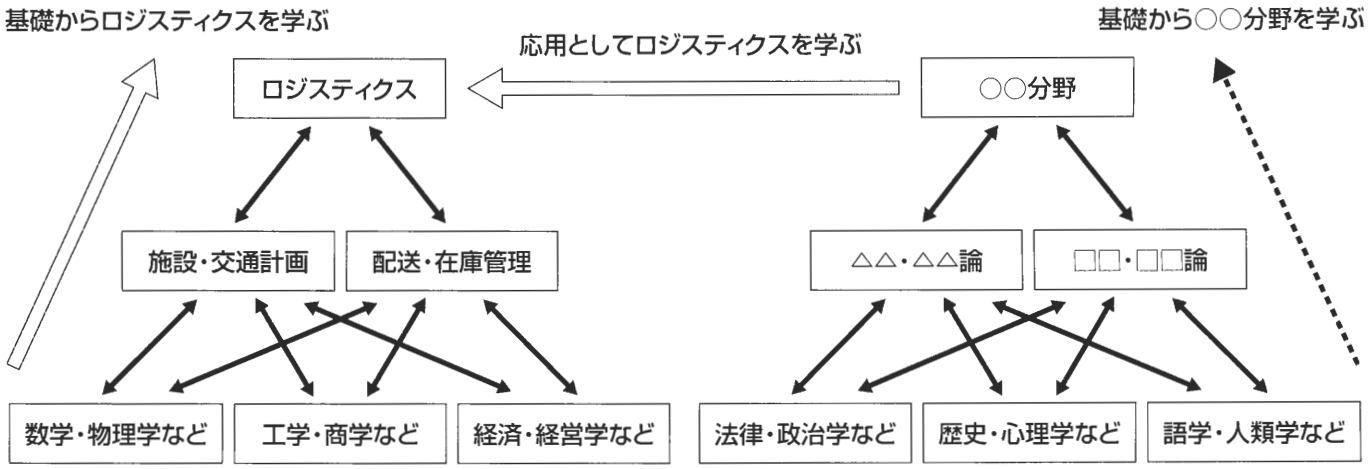
基礎から学ぶときには理論にとらわれてしまい、限られた理論だけで実態を説明しがちである。しかしロジスティクスのように社会現象を相手にしているときは、理論といっても検討範囲を限定したり、多くの仮定を設けざるを得ない。現実のある部分を捨象しながら抽象化することで論理を組み立てていくので、現実から遊離してしまうことはしばしば起きる(注)。

この限定や仮定の存在を、つい忘れがちになってしまう。「理論に合わないから、現実がおかしい」「理論的に正しい姿に移行するまでの過程が現在の姿」などという屁理屈を言い出して、狭い専門分野の正当性だけを押し通そうとすれば、理論の役割をゆがめかねない。

応用として深く学ぶ

ロジスティクスを応用学問として見る方法もある。生産管理、市場調

図　ロジスティクスを学ぶとき　ー基礎から学ぶか、応用から学ぶかー



査、総務など、どの分野であっても深い知識と洞察力を身につけていれば、真摯（しんし）な気持ちでロジスティクスという新しい分野へ挑戦できるはずだ。

「最新の○○理論を用いたモデルで、△△法で計算しました」などと言われても、計算結果だけをうのみにすることはないだろう。逆に「実態に合わないから、理論が間違っている」などと、拒否反応を示すこともないだろう。

ほかの分野の深みと広さを想像できれば、その分、表面的な理解だけでは満足しない。そんなプロこそが、応用から学んでも深く理解できると思うのである。

何を教科書に選ぶかが大事

「ロジスティクスには教科書がない」という冒頭の嘆きに戻って、考えてみよう。

公式の回答としては「ロジスティクスでは、基礎理論について詳しく書くと、専門的すぎて一般書には向かない。逆に幅広く書くと薄くなって、初学者のための入門書になってしまう。どちらにせよ、実務には適さないことがある」となる。

しかし本音は、別のところにある。「どの論文を見れば、この問題は解決しますか」と質問する学生への回答、「解決したいことが書いてある論文は、ほとんどない」に近い。

実務で直面している問題は、優秀な先達たちでさえ容易には解決し得ず、しかも本や論文でも簡単には書けないほど難しいものに違いない。だからこそ、以前よりも多くなったとはいえ、本や論文が問題を直ちに解決してくれることは少ない。

多くのロジスティクスの本や論文を参考にし、周辺分野からもヒントを得ながら、一つひとつの知見を自らの手で組み合わせていくことが、解決への近道だと思うのである。

（注）捨象：物事を抽象化する際、不要と判断した側面や性質を排除する作用。

Profile

東京海洋大学　海洋工学部
流通情報工学科　教授
苦瀬博仁

（くせ　ひろひと）1951年東京生まれ。73年早稲田大学理工学部土木工学科卒業。75年、同大学大学院修士課程修了。81年、同大学大学院博士課程修了後、日本国土開発に入社。86年から東京商船大学助教授、94年より同大学教授。2003年大学統合により、東京海洋大学教授。副学部長、評議員を経て、06年4月より流通情報工学科長。94年から95年の1年間、フィリピン大学客員教授。04年6月より東京大学大学院医学系研究科客員教授（併任）。主な著書に『付加価値創造のロジスティクス』（税務経理協会）、『都市交通ー都市交通計画・都市物流計画』（丸善）、『マニラ・エンジョイ・トラブル』（論創社）、『明日の都市交通政策』（成文堂）http://www.e.kaiyodai.ac.jp/~kuse/